

2020年度後期 山梨学習センターゼミ

ゼミ日	会場	講師	テーマ	ゼミ概要
			ゼミの進め方	受講生へのメッセージ及び用意するもの
10/7 11/4 12/2 1/6 2/3 3/3 (水)	講義室2	(定員) 6名 募集人員 3名 センター所長 平山 公明 時間 15:30~17:00	所長のちょっと聞きかじり 読みかじり ラジオ放送をメモを取りながら聞き、参加者各自がその内容を再現し(語り)ます。話のテーマに関して参加者の意見を自由に語り、自分の考えを文章にまとめ発表します。	発話内容を把握し、話のテーマに関して意見を交換し考えを深めます。具体的には、(1)発話をメモしながら聞く。(2)話の内容を1分で説明する。(3)話の構造を分析する。(4)自分の考えを文章としてまとめる。 組み立てを考えた話し方や文章の作り方を知ってもらいたいと思っています。ノートと筆記用具を用意してください。
10/1 11/12 12/3 1/7 2/4 3/4 (木)	会議室	(定員) 5名 募集人員 2名 客員教授 島 弘幸 (山梨大学教授) 時間 9:30~11:00	数学の難問に挑む 参加者は全員、指定テキストを事前に読み、問題と解答を予習します。発表者(輪番制)は、予習した内容を皆さんの前で披露し、他の参加者からの質疑に備えます。	中学生の知識で解けるはずだけど、大学生でも解くのが難しい・・・そんな数学の難問・良問を実際に解いてもらい、数の世界の楽しさを感じてもらおうと思います。 以下のテキストをご用意ください。 ・数学難問BEST100 (PHP出版) ・古典数学の難問101(日本実業出版会)
10/20 11/17 12/15 1/26 2/16 3/16 (火)	実習室	(定員) 10名 募集人員 8名 客員教授 近藤 英一 (山梨大学教授) 時間 1530~17:00	甲州金工品観察学!? 「金属シバリ」です。家で、散歩の折に、趣味の活動で、旅先で、ピンときたさまざまな「金属」の写真をたくさん撮影し、持ち寄って、みなで「鑑賞」しましょう。芸術作品や考古資料から、日用品、朽ちた遺物まですべての金属が対象です。	美術館や博物館で絵画や漆器はご覧になりますよね。でも金属工芸品は、、、? 金属が使われているのには魅力と理由があります。郷土の金属「作品」発掘と「鑑賞」を通じて、金属の美しさや優秀さを一緒に考えられたらと思います。 コンパクトカメラやスマホでOK。撮影技術の優劣は問いません。工芸品や工業製品の鑑賞・観察の目を肥やすのが目的です。遊び感覚でご参加下さい。
10/8 11/12 12/10 1/14 2/18 3/18 (木)	会議室	(定員) 4名 募集人員 0名 客員教授 仲本康一郎 (山梨大学教授) 時間 13:30~15:00	ことばの研究会 学生の皆さんが日頃関心を抱いているテーマを持ち寄って議論します。ただ、はじめは何か教科書があったほうが良いと思いますので、輪読会のかたちで進めていくこと考えています。	現代言語学を背景にして、ことばについて学び合う研究会です。文法と意味、レトリックと文体、コミュニケーション、ことばの発達と学習、社会的バリエーション、言語教育政策、メディアと政治など、さしあたりテーマは問いません。 この研究会が、ことばに関心を持つ皆さんにとって、双方向の学びの場となることを願っています。
10/13 11/10 12/8 1/12 2/9 3/9 (火)	実習室	(定員) 10名 募集人員 6名 客員教授 望月 和樹 (山梨大学教授) 時間 9:30~11:00	栄養学 栄養学の基本的な知識を学んだ上に、身近な食品や栄養問題について議論をしたいと思っています。	45分程度、望月が栄養学に関する講義をします。残りの45分で身近な栄養問題について話し合いたいと思います。 特にありません。
10/23 11/27 12/18 1/22 2/19 3/19 (金)	会議室	(定員) 6名 募集人員 2名 客員准教授 川島亜紀子 (山梨大学准教授) 時間 11:00~12:30	批判的思考スキルを身につけよう テキスト「クリティカルシンキング:研究論文篇」を使用し、発表担当者を決めて文献講読し、疑問点について意見交換しながら進めます。	心理学を含む、科学的な研究から得られた知見を解釈し、実生活に利用するためには、批判的な思考が必要不可欠です。このゼミでは批判的思考を身につけるための基本を文献講読を通じて理解します。 ・「クリティカルシンキング 研究論文篇」(J.メルツォフ著、中澤潤 監訳、北大路書房 ISBN 4762824593 ¥3800+tax) をテキストとして使用します。
10/22 11/26 12/24 1/28 2/25 3/25 (木)	実習室	(定員) 12名 募集人員 10名 客員准教授 小島 千か (山梨大学准教授) 時間 15:30~17:00	色や形による音楽表現 毎回、西洋音楽の作曲家を1人取り上げます。その作曲家の作品を聴き、音楽の特徴を色や形で表していただきます。色や形に表していただいたものを基に音楽作品の解説を行ったり、みなさんと音楽をつくったりします。	西洋音楽の理解を深め広げていただくために、色や形を関連させた音楽鑑賞や音楽づくりを行います。日常生活の中に溢れている音楽を耳にした時に、新しい発見が生まれることを目指したいと思います。 “絵を描くのは苦手” “作曲などできない”などは心配ご無用です。表現していただくことに正解はありませんし、みんなで音楽をつくるのは楽しいです!

ゼミ日の青字は、当初案内のゼミ日を変更して開催いたします。